PDF issue: 2024-10-10

編集後記

(Citation)

國文論叢別冊, 2:27-27

(Issue Date)

2024-09-30

(Resource Type)

other

(Version)

Version of Record

(URL)

https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100491578



い。『国文論叢』別冊第二号をお届けする。今号は投稿記事が一篇のみであったことから、編集委員を立てず、事務局が編集を代行しみであったことから、編集を記事が一篇の

昨年度より本誌別冊を電子版として創刊したことの狙いについ昨年度より本誌別冊を電子版として創刊したことの狙いについいます。本学国文学研究メート』がそれである。両誌ともに六て記す。本学国文学研究メート』がそれである。両誌ともに六により停刊のやむなきに至っている。発表媒体の不足は、大学院により停刊のやむなきに至っている。発表媒体の不足は、大学院におり停刊のやむなきに至っている。発表媒体の不足は、大学院に特化しつつ、いわゆるMISCに相当する記事類を電子版として刊行し、業績発信のための媒体を限定的ながら確保した次第でて刊行し、業績発信のための媒体を限定的ながら確保した次第でて刊行し、業績発信のための媒体を限定的ながら確保した次第でて刊行し、業績発信のための媒体を限定的ながら確保した次第でて刊行し、業績発信のための媒体を限定的ながら確保した次第での指載の表述を表述といる。

電子版の投稿記事は、大学院生有志を中心とした会員相互の合電子版の投稿記事は、大学院生有志をとった)。冊子体と同様評会に付される(今号はメール審議の形をとった)。冊子体と同様評会に付される。刊行が可とされた場合、投稿締切は二〇二五年年九月予定)については、二〇二四年八月の本学会総会におけるに、発行費は山口誓子基金より拠出される。次号刊行(二〇二五年)の投稿記事は、大学院生有志を中心とした会員相互の合電子版の投稿記事は、大学院生有志を中心とした会員相互の合電子版の投稿記事は、大学院生有志を中心とした会員相互の合いただければ幸甚である。

(本誌編集事務局 梶尾文武

会費・購読費納入のお願い

みをいただきますよう、お願い申し上げます。○○円です。あわせて下記のゆうちょ銀行口座にお振込本学会の会費は年額五○○円、本誌の購読費は年額二五

〇一一五〇----六六二二

(当座一一九店 六六二二)

お問合せ先 kokubun_ronsou@yahoo.co.jp

(「国文論叢」編集事務局)

国文論叢 別冊第二号(電子版)

印刷所 株式会社 遊 文二〇二四年(令和六年)九月三十日発行

舎 祐

申 万 五 元 三 八 五 ○ 一

神戸大学文学部国語国文学会 神戸市灘区六甲台町一ノ一